

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 平成30年度

市町村名	久喜市					
提案事業名	郷土の偉人本多静六博士の偉業・生き方から地域の魅力を再発見事業					
事業期間	平成30年度 ～ 平成30年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 本多静六記念館の年間利用者数					
	(成果検証の具体的な方法) 新たに改修する本多静六記念館の事業実施前と実施後の年間利用者数を比較し、増減数を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	C	
	従前値 (30年3月時点)	8,107人 (年間)	目標値 (31年3月時点)	9,000人 (年間)	実績値 (31年3月時点)	7,442人 (年間)
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		ホームページ上で公表。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成30年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ふるさと久喜愛着心醸成事業	○	市内の4年生から6年生までの児童を対象に、三箇小学校6年生による本多静六博士に関する発表会を開催し、併せて、改修した本多静六記念館を見学後に意見交換を実施することで、博士の偉業・生き方から地域の魅力を発信することができた。
② 本多静六記念館展示改修事業	△	事業実施後には入館者数の増加がみられたが、事業実施前の入館者数の減少により年間を通じての入館者数は減少となった。
③		
④		
⑤		
⑥		

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	本多静六記念館改修事業完了後の12月～3月には、前年度比で2倍以上の入館者数があり、事業実施の成果が十分に認められた。
実施事業について 成果が不十分である点	事業実施前の6月の入館者数が大きく落ちこんだことから、年間を通じた成果指標の目標値を達成することができなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	年間を通じて入館者数が増えていくように、今後も引き続き市のホームページやSNS、マスコミへの情報提供などを通じて、本多静六記念館の存在と今回の事業実施により生まれた新たな魅力を広めていきたい。